



山口県内経済の動き

山口県内景気は、一部で足踏みが見られるものの 総じて緩やかに回復している

現状



輸出額は4ヶ月連続で前年を下回り、住宅建築や公共工事は弱めの動きとなっている。生産は化学等が低下したが、全体としては横ばい圏内の動き。個人消費はコンビニエンスストア販売額等が前年比プラスとなるなど着実に持ち直している。有効求人倍率は3ヶ月連続で1.3倍超となり、実質賃金も前年比プラス。観光は持ち直しの動きがみられ、設備投資も増加傾向にあるなど、県内景気は一部で足踏みが見られるが総じて緩やかに回復している。

先行き



昨今の物価上昇に伴う企業収益や消費行動への影響に加え、イラン情勢の不安定化の下でのホルムズ海峡封鎖による原油高等の経済的影響が懸念されるものの、企業収益の先行きは不透明であるため、天気マークは「曇」のままとした。

	景況判断		コメント
	方向		
雇用情勢			有効求人倍率は3ヶ月連続で1.3倍超（3月）、実質賃金は3カ月連続で前年比プラスとなる（2月）。
個人消費			百貨店・スーパー販売額は17ヶ月ぶりに前年を下回ったものの、コンビニエンスストアやドラッグストア販売額は前年比プラスで、全体としては着実に持ち直している（3月）。
観光			主要観光施設の利用者・宿泊者数は、持ち直しの動き（3月）。
住宅建築			持家、貸家ともに前年比マイナスとなり、全体として弱めの動きとなっている（3月）。
公共工事			公共工事請負金額は、国、市町からの発注が減少し、4ヶ月連続で前年比マイナスとなり、全体として弱めの動きとなっている（3月）。
倒産			負債総額は3ヶ月ぶりに前年比プラスとなるも、全体としては横ばい圏内で推移している（3月）。
生産活動			鉱工業生産指数は化学等の低下もあり、2ヶ月ぶりに前月比マイナスとなるが、全体として横ばい圏内の動きとなっている（2月）。
輸出			輸出額は4ヶ月連続で前年を下回り、全体として弱めの動きとなっている。貿易バランスは38ヶ月連続の出超（3月）。
設備投資			2025年度の設備投資計画額は、5年連続の前年比プラス（当研究所が2月に実施した「企業経営・設備投資動向調査」による）。

* 「景況判断」は、現在の水準を5段階の天気マーク（晴、晴一部曇、曇、曇一部雨、雨）で表示
「方向」は、前月からの基調としての変化方向（好転・不変・悪化）。好転・悪化における実線の矢印は、天気マークの変化を伴うもの、点線は天気マークが変化しないもの。

<主要経済指標の動き> (前年同月との比較)

	2025年												2026年		
	3月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
有効求人倍率	●	●	—	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
所定外労働時間（製造業）	○	●	●	●	○	●	—	●	●	●	●	●	△		
百貨店・スーパー販売額	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●		
乗用車新車販売台数	○	○	●	○	●	●	●	●	●	○	●	●	●		
新設住宅着工戸数	●	○	●	●	●	●	○	●	●	●	○	●	●		
公共工事請負金額	○	●	●	●	●	●	○	●	●	○	○	○	●		
企業倒産件数	○	○	○	○	●	●	○	●	○	●	○	○	—		
鉱工業生産指数	○	●	○	●	●	●	○	○	●	●	●	●	△		
輸出額	○	●	●	●	●	●	●	●	○	●	●	●	●		

○：好転 ●：悪化 —：横ばい

* 鉱工業生産指数は原指数、所定外労働時間は事業所規模5人以上、百貨店・スーパー販売額は全店舗、乗用車新車販売台数は軽乗用車含む、有効求人倍率は原数値

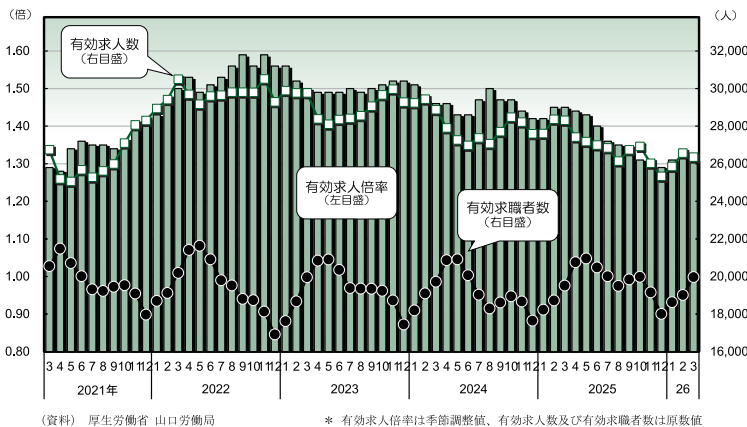
1

雇用

有効求人倍率は3ヶ月連続で1.3倍超、実質賃金は前年比プラスが継続

有効求人倍率（3月：前月比▲0.02ポイント、季節調整値）は1.31倍と3ヶ月連続で1.3倍超となる。**新規求人数**（3月：前年比▲9.7%、パートを含む原数値）が11ヶ月連続の前年比マイナス。業種別にみると、製造業、卸売業・小売業等で減少。**職安別の有効求人倍率**（3月、パートを含む原数値）をみると、下関が1.62倍で最も高く、岩国が1.06倍で最も低い水準。

有効求人倍率（有効求人人数・有効求職者数）の推移



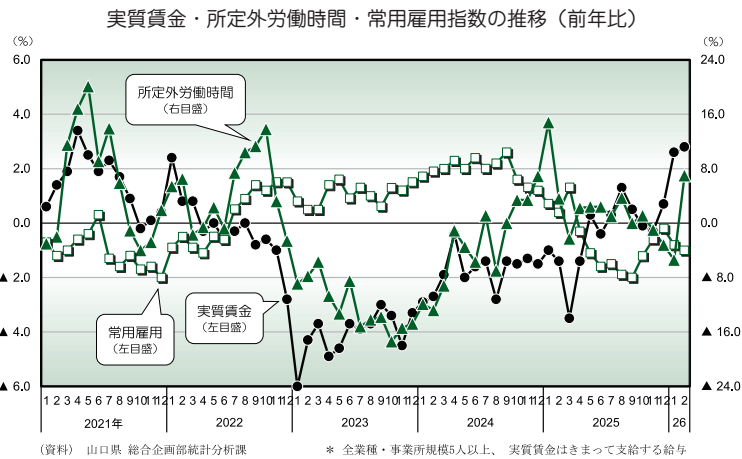
有効求人倍率（2026年3月）

(単位：倍、ポイント)

	2026年3月		2026年3月		
	前年比		前年比		
山口	1.31	▲0.30	徳山	1.40	▲0.16
下関	1.62	▲0.01	下松	1.19	+0.02
宇部	1.49	▲0.10	岩国	1.06	▲0.25
防府	1.07	▲0.17	柳井	1.07	+0.03
萩	1.29	▲0.11	全県	1.31	▲0.14

(資料) 厚生労働省 山口労働局
* 数値及び前年比は原数値（全県の数値は季節調整値）

実質賃金（2月：前年比+2.8%、全業種・事業所規模5人以上）は3ヶ月連続で前年比プラス（名目賃金：同+3.7%）。**所定外労働時間**（2月：同+7.0%）は前年比プラスの一方、**常用雇用**（2月：同▲1.0%）は前年比マイナス。



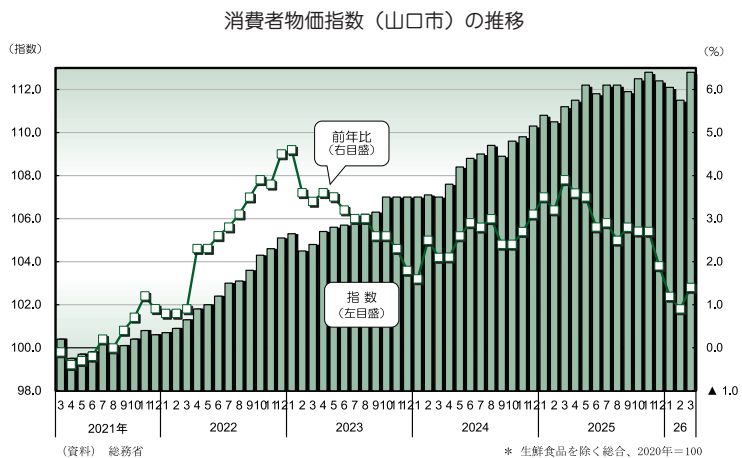
実質（名目）賃金・所定外労働時間・常用雇用指数
（2026年2月、26年1-2月平均）（単位：指数、%）

	2026年		2026年	
	2月	前年比	1-2月	前年比
名目賃金	109.7	+3.7	110.0	+3.6
実質賃金	96.2	+2.8	96.1	+2.7
所定外労働時間	97.8	+7.0	96.2	+0.5
常用雇用	100.9	▲1.0	101.3	▲0.9

(資料) 山口県 総合企画部統計分析課
* 全業種、事業所規模5人以上 名目・実質賃金はきまって支給する給与

2 物 価 生鮮食品を除く総合指数は55ヶ月連続の前年比プラス

消費者物価指数（生鮮食品除く）（3月：前年比+1.4%）は55ヶ月連続で前年を上回り、依然高い水準を維持している。費目別では、米や野菜等が値上がりした「食料」（同+3.3%）、「家具・家事用品」（同+5.2%）が前年比プラスとなった。



消費者物価指数（2026年3月、26年1-3月平均）

(単位：指数、%)

	2026年		2026年	
	3月	前年比	1-3月	前年比
食料	130.1	+3.3	130.7	+3.8
住居	104.4	▲0.2	104.4	▲0.1
光熱・水道	107.9	▲1.7	109.5	▲1.2
家具・家事用品	134.1	+5.2	129.9	+2.4
被服及び履物	109.0	▲1.0	109.1	+99.7
保健医療	105.3	▲0.4	106.1	+0.3
交通・通信	105.5	+2.2	102.9	▲0.2
生鮮食品除く総合	112.8	+1.4	112.1	+1.2

(資料) 総務省 * 2020年=100

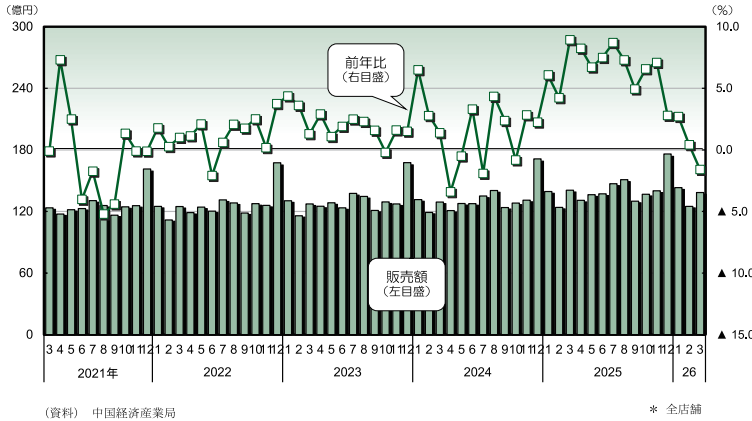
3

消費

コンビニエンスストア・ドラッグストア販売額等が前年比プラス

百貨店・スーパー販売額（3月：前年比▲1.6%）は17ヶ月ぶりに前年を下回った。商品別にみると、身の回り品（同+2.5%）、家庭用品（同+4.7%）は前年比プラスとなるが、衣料品（同▲5.0%）、飲食品（同▲1.9%）は前年比マイナスとなり、全体では前年を下回る水準となった。

百貨店・スーパー販売額の推移



百貨店・スーパー販売額

(2026年3月、26年1-3月累計) (単位：億円、%)

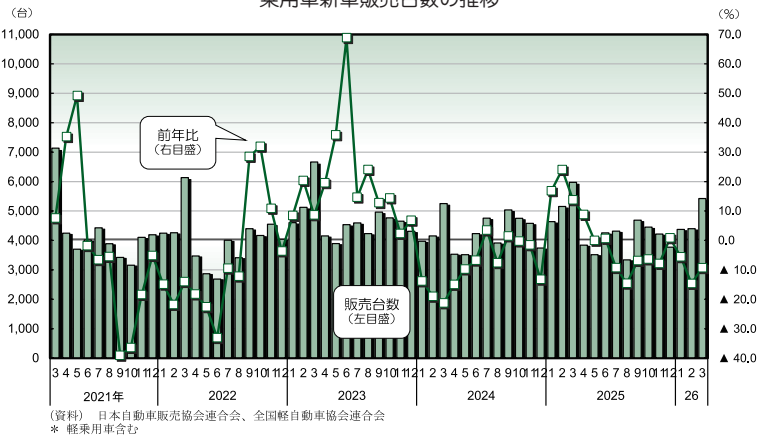
	2026年		2026年	
	3月	前年比	1-3月	前年比
衣料品	10	▲5.0	28	▲4.4
身の回り品	4	+2.5	11	+1.1
飲食品	105	▲1.9	312	+0.5
家庭用品	7	+4.7	19	+4.6
その他	12	▲0.5	35	+3.0
合計	138	▲1.6	406	+0.5

(資料) 中国経済産業局

* 全店舗

乗用車新車販売台数（軽乗用車含む）（3月：前年比▲9.2%）は3ヶ月連続で前年比マイナス。軽乗用車（同+1.8%）は前年を上回るも、普通車（同▲15.8%）、小型車（同▲15.9%）はそれぞれ前年を下回った。家電量販店販売額（同+0.5%）、ドラッグストア販売額（同+0.3%）、コンビニエンスストア販売額（同+1.2%）は前年比プラスとなったが、ホームセンター販売額（同▲0.1%）は前年比マイナスとなった。

乗用車新車販売台数の推移



乗用車新車販売台数

(2026年3月、26年1-3月累計) (単位：百台、%)

	2026年		2026年		
	3月	前年比	1-3月	前年比	
乗用車	普通車	20	▲15.8	50	▲14.5
	小型車	12	▲15.9	31	▲9.7
	軽乗用車	23	+1.8	61	▲6.0
	合計	54	▲9.2	142	▲9.9

(資料) 日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会

専門量販店等販売額

(2026年3月、26年1-3月累計) (単位：億円、%)

	2026年		2026年	
	3月	前年比	1-3月	前年比
家電量販店	40	+0.5	105	+3.2
ホームセンター	28	▲0.1	72	▲2.1
ドラッグストア	89	+0.3	247	+1.7
コンビニエンスストア	105	+1.2	299	+1.1

(資料) 経済産業省

4 観光 主要観光施設の利用者・宿泊者数は持ち直しの動き

主要観光施設利用者・宿泊者数（3月）をみると、海響館の来館者数（前年比全増）、錦帯橋の渡橋者数（同+12.5%）、秋芳洞の入洞者数（同+10.2%）、松陰神社の入込客数（同+9.6%）はそれぞれ前年比プラスとなる。温泉地の宿泊者数についても、湯田温泉の宿泊者数（同+3.8%）、湯本温泉の宿泊者数（同+7.5%）はともに前年比プラスとなった。

観光施設利用者数（2026年3月、26年1-3月累計）

（単位：人、%）

	2026年		2026年	
	3月	前年比	1-3月	前年比
海響館	57,812	全増	138,543	全増
錦帯橋	67,324	+12.5	125,406	+2.5
秋芳洞	39,296	+10.2	77,342	+7.2
松陰神社	29,257	+9.6	78,800	+3.2

（資料）山口県 総合企画部統計分析課、萩市商工観光部観光課

旅館の宿泊者数（2026年3月、26年1-3月累計）

（単位：人、%）

	2026年		2026年	
	3月	前年比	1-3月	前年比
湯田温泉	31,661	+3.8	78,690	+0.8
湯本温泉	17,628	+7.5	41,982	+2.8

（資料）山口県 総合企画部統計分析課

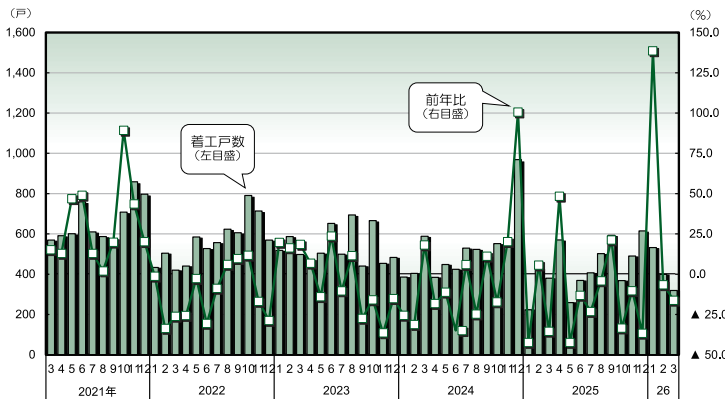
* 温泉旅館組合加盟旅館の宿泊者数（修学旅行生を含む）

* 海響館は2024年12月～2025年7月は改装のため休館

5 建設 住宅建築は2ヶ月連続で前年比マイナスとなり、公共工事も前年比マイナス

新設住宅着工戸数（3月：前年比▲16.1%）は2ヶ月連続で前年比マイナス。利用関係別では、分譲（同+31.8%）は前年比プラスとなったが、持家（同▲17.6%）、貸家（同▲32.1%）は前年比マイナスとなった。

新設住宅着工戸数の推移



（資料）国土交通省

新設住宅着工戸数（2026年3月、26年1-3月累計）

（単位：戸、%）

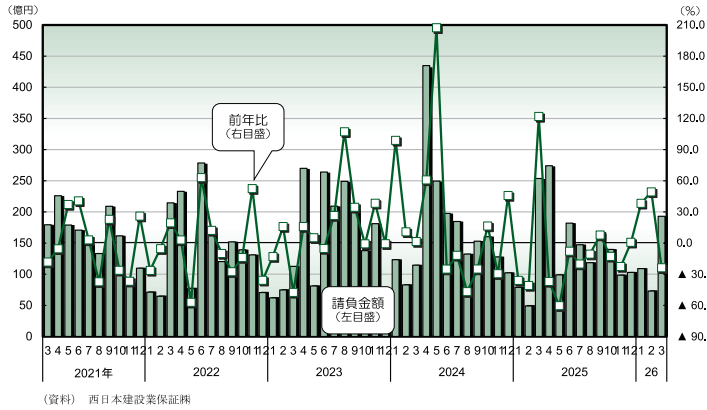
	2026年		2026年	
	3月	前年比	1-3月	前年比
持家	183	▲17.6	603	+8.5
貸家	76	▲32.1	407	+23.0
給与	2	+0.0	2	▲50.0
分譲	58	+31.8	238	+71.2
マンション	0	±0.0	55	全増
合計	319	▲16.1	1,250	+21.4

（資料）国土交通省

* 給与は社宅や官舎等

公共工事請負金額（3月：前年比▲24.0%）は4ヶ月連続で前年比マイナス。発注者別では、県（同+6.6%）は前年比プラスとなるが、国（同▲25.3%）、市町（同▲4.0%）は前年比マイナスとなる。請負総額2億円以上の大型工事は、件数が24件（同▲5件）、対象額が約124億7千万円（同▲45億円）と前年比マイナスとなる。

公共工事請負金額の推移



公共工事請負金額（2026年3月、2025年度）

（単位：億円、%）

	2026年3月		2025年度	
	金額	前年比	金額	前年比
国	76	▲25.3	311	▲0.1
独立行政法人等	3	▲91.8	82	▲52.7
県	45	+6.6	573	+1.2
市町	47	▲4.0	659	▲35.1
その他の公共的団体	22	▲3.6	77	+35.2
合計	193	▲24.0	1,702	▲19.9

（資料）西日本建設業保証㈱

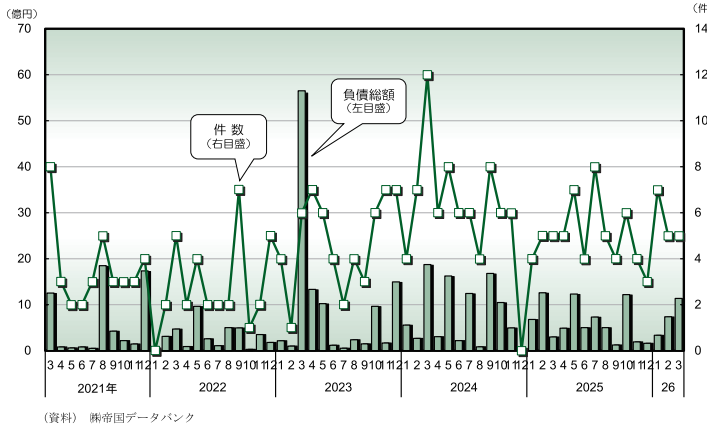
6

倒産

負債総額は3ヶ月ぶりに前年比プラスとなる

企業倒産（3月）は、**件数**が5件（前月比±0件、前年比±0件）で、**負債総額**は11億4千万円（前月比+4億円、前年比+8億4千万円）となり、3ヶ月ぶりに前年比プラスとなる。**代位弁済**（3月）は、**件数**（前年比+14.3%）、**金額**（同+5.1%）ともに前年比プラスとなった。

企業倒産件数・負債総額の推移



企業倒産件数・負債総額
（2026年3月、26年1-3月累計）

（単位：件・億円、%）

	2026年3月		2026年1-3月	
	金額	前年比	金額	前年比
件数	5	±0.0	17	+21.4
負債総額	11	3.8倍	22	▲1.4

（資料）㈱帝国データバンク

代位弁済件数・金額
（2026年3月、25年4月-26年3月）

（単位：件・億円、%）

	2026年3月		25年4月-26年3月	
	金額	前年比	金額	前年比
件数	48	+14.3	396	+8.8
金額	6	+5.1	39	+7.3

（資料）山口県信用保証協会

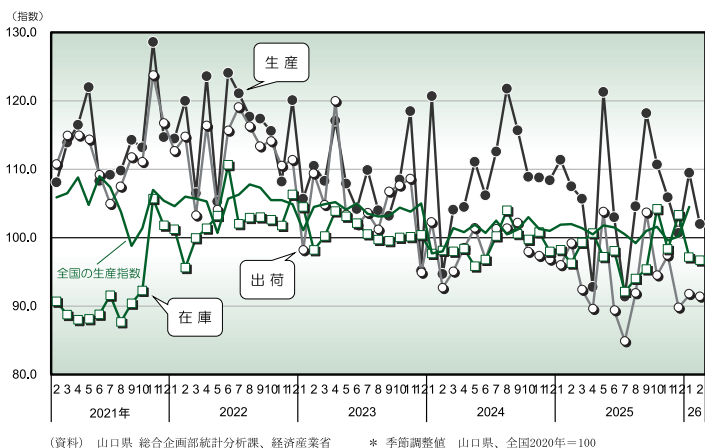
7

生産

鉱工業生産指数は2ヶ月ぶりに前月比マイナス

鉱工業生産指数（季節調整値）（2月：前月比▲6.8%）は102.0で2ヶ月ぶりに前月比マイナスで、前年比は▲5.1%と4ヶ月連続でマイナスとなる。**出荷指数**（同）（2月：同▲0.2%）は91.4で2ヶ月ぶりの前月比マイナス。**在庫指数**（同）（2月：同▲0.5%）は96.7で2ヶ月連続の前月比マイナスとなる。

鉱工業指数の推移



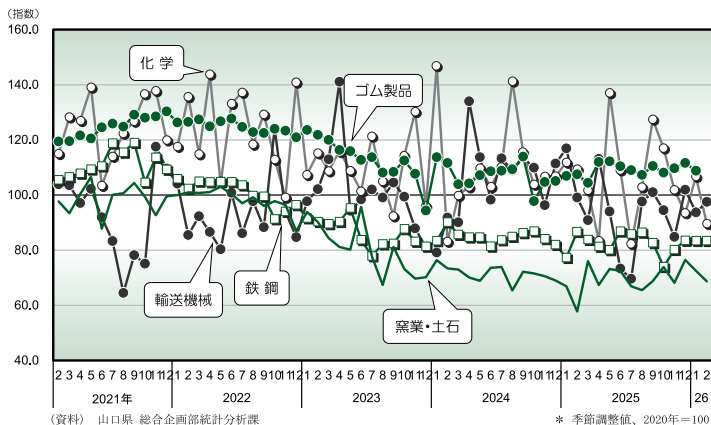
鉱工業指数（2026年2月、26年1-2月平均）

		2026年		2026年	
		2月	前年比	1-2月	前年比
生産	山口県	102.0	▲5.1	105.8	▲4.1
	全国	102.4	+0.4	103.5	+0.6
出荷	山口県	91.4	▲7.9	91.5	▲7.0
	全国	100.6	▲0.1	95.1	+0.5
在庫	山口県	96.7	+0.4	97.0	▲0.9
	全国	98.1	▲3.4	98.0	▲3.8

（資料）山口県 総合企画部統計分析課、経済産業省
* 指数は季節調整値、前年比は原数値
（山口県、全国2020年=100）

業種別に指数（季節調整値、2020年=100）の推移をみると、**鉄鋼**（前月比▲0.1%）、**化学**（同▲15.9%）は前月比マイナスとなるも、**輸送機械**（同+4.1%）は前月比プラスとなる。品目別にみると化学では医薬品（同▲29.0%）等の生産が低下した。

鉱工業生産指数の推移（業種別）



鉱工業生産指数
（業種別：2026年2月、26年1-2月平均）

		2026年		2026年	
		2月	前年比	1-2月	前年比
鉄	鋼	83.4	▲3.8	83.5	+1.2
輸送	機械	97.5	▲1.6	95.6	▲13.0
窯業・	土石	68.7	+18.9	70.6	+12.4
化	学	89.6	▲18.1	98.1	▲12.7
ゴム	製品	111.7	+3.9	103.3	+3.1

（資料）山口県 総合企画部統計分析課
* 指数は季節調整値、前年比は原数値（2020年=100）

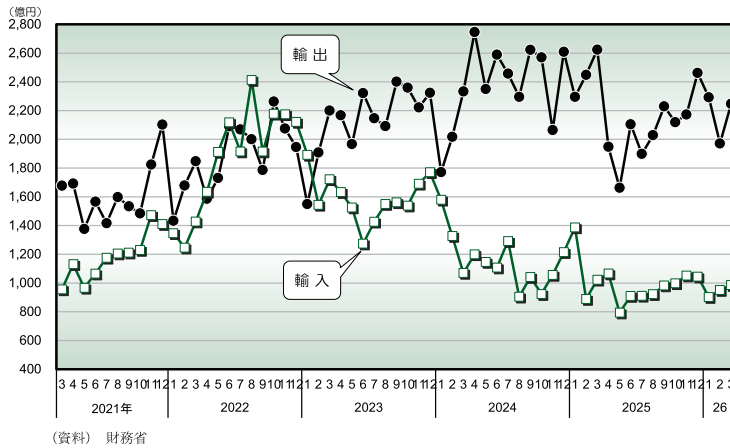
8

貿易

輸出額は4ヶ月連続で前年比マイナス、貿易バランスは38ヶ月連続の出超

輸出額（3月：前年比▲14.4%）は4ヶ月連続で前年比マイナス。宇部港を除く主要4港で前年を下回った。輸入額（3月：同▲3.4%）は2ヶ月ぶりに前年比マイナス。アラブ首長国連邦からの原油等が増加した徳山港を除く主要4港で前年比マイナスとなった。なお、貿易バランス（輸出額－輸入額）（3月：+1,262億円）は38ヶ月連続の出超。

貿易額（輸出・輸入額）の推移



貿易額（2026年3月）

(単位：億円、%)

	輸出額	前年比	輸入額	前年比
下 関	1,025	▲15.8	238	▲12.0
宇 部	60	+2.6	73	▲11.2
徳 山	393	▲13.4	473	+6.2
防 府	700	▲14.6	108	▲5.5
岩 国	61	▲7.3	94	▲11.1
合 計	2,247	▲14.4	985	▲3.4

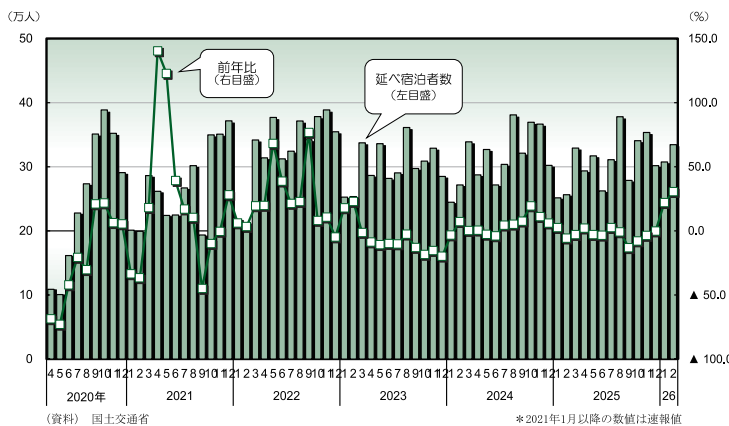
(資料) 門司税関

トピックス

1～2月の県内の延べ宿泊者数、外国人宿泊者数(速報値)は前年比増加

国土交通省（観光庁）の宿泊旅行統計調査によると、山口県における今年2月の延べ宿泊者数（速報値ベース）は、約33万人で前年比30.4%増加（全国：▲0.6%）。2025年は前年を下回る結果（前年比▲3.0%）となったが、2026年は前年を上回る推移となっている。また、同月の外国人の延べ宿泊者数についても、約19千人で同52.2%増加（全国：+2.0%）と、前年を上回る推移となっている。

山口県内宿泊施設の延べ宿泊者数の推移



延べ宿泊者数（2026年2月、1-2月累計）

(単位：人、%)

	2026年 2月	前年比	2026年 1-2月	前年比
延べ 宿泊者数	334,410	+30.4	641,990	+26.4
うち 外国人	18,660	+52.2	35,400	+30.6

(資料) 国土交通省

* 2026年2月の宿泊施設数は合計445



広島県内経済の動き

広島県内景気は、緩やかな回復基調にある

現状



新設住宅着工戸数は2ヶ月ぶりに前年比マイナスとなり全体として弱めの動き。生産活動は鉱工業生産指数が2ヶ月ぶりに前月比マイナスとなるも、全体としては緩やかに持ち直している。また輸出額は2ヶ月連続の前年比プラスであるほか、雇用情勢が緩やかに改善する下で、個人消費は物価上昇の影響を受けながらも緩やかに回復するなど、県内景気全体としては緩やかな回復基調にある。

先行き



昨今の物価上昇に伴う企業収益や消費行動への影響に加え、イラン情勢の不安定化の下でのホルムズ海峡封鎖による原油高等の経済的影響が懸念されるものの、企業収益の先行きは不透明であるため、天気マークは「曇」のままとした。

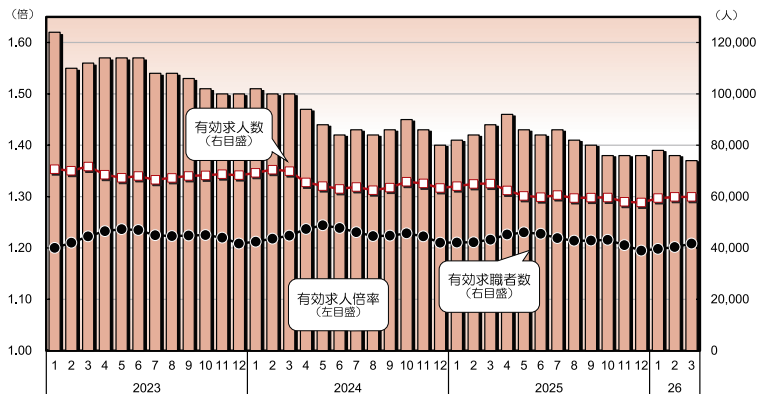
	景況判断		コメント
	方向		
雇用情勢			有効求人倍率が1.37倍と高水準を維持するなど、緩やかに改善している(3月)。
個人消費			百貨店・スーパー販売額が9ヶ月連続で前年比プラスとなり、緩やかな回復基調にある(3月)。
住宅建築			新設住宅着工戸数は2ヶ月ぶりに前年比マイナス。持家、貸家、分譲がそれぞれ前年比マイナスとなるなど、全体として弱めの動きとなっている(3月)。
公共工事			公共工事請負金額は6ヶ月連続で前年比マイナスとなるも、総じて横ばい圏内の動きとなっている(3月)。
生産活動			鉱工業生産指数は2ヶ月ぶりに前月比マイナスとなるが、全体として緩やかに持ち直している(3月)。
輸出			輸出額は2ヶ月連続で前年比プラスとなり、全体として緩やかに持ち直している(3月)。
倒産			負債総額は4ヶ月連続で前年比プラスとなるが、全体として横ばい圏内の動きとなっている(3月)。

*「景況判断」および「方向」は、山口県同様、5段階の天気マーク(晴、晴一部曇、曇、曇一部雨、雨)と前月からの基調としての変化方向(好転・不変・悪化)で表示

1 雇用

有効求人倍率は1.37倍と高水準を維持(3月:前月比▲0.01P 季節調整値)

有効求人倍率(有効求人数・有効求職者数)の推移



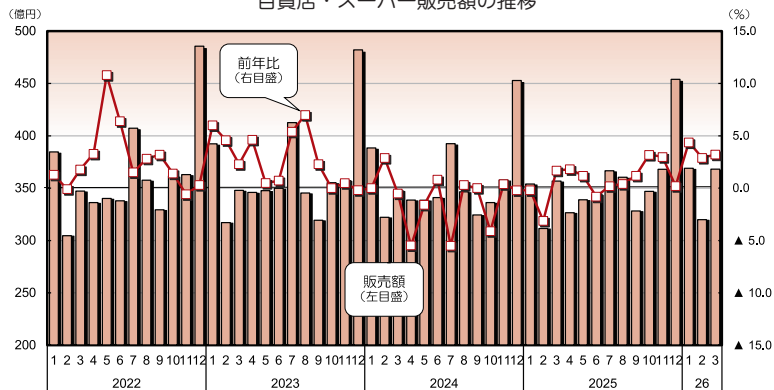
(資料) 厚生労働省 広島労働局

* 有効求人倍率は季節調整値、有効求人数及び有効求職者数は原数値

2 消費

百貨店・スーパー販売額は9ヶ月連続で前年比プラス(3月:前年比+3.2%)

百貨店・スーパー販売額の推移



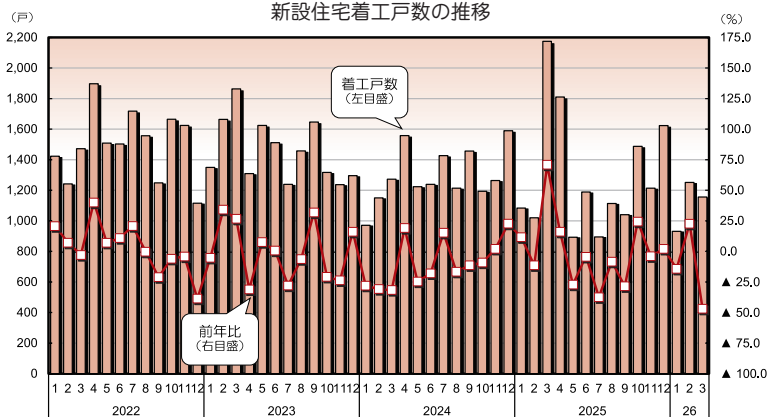
(資料) 経済産業省

* 全店舗

3 建設 (住宅)

新設住宅着工戸数は2ヶ月ぶりに前年比マイナス(3月:前年比▲46.9%)
(持家:同▲31.2% 貸家:同▲35.2% 分譲:同▲71.5%)

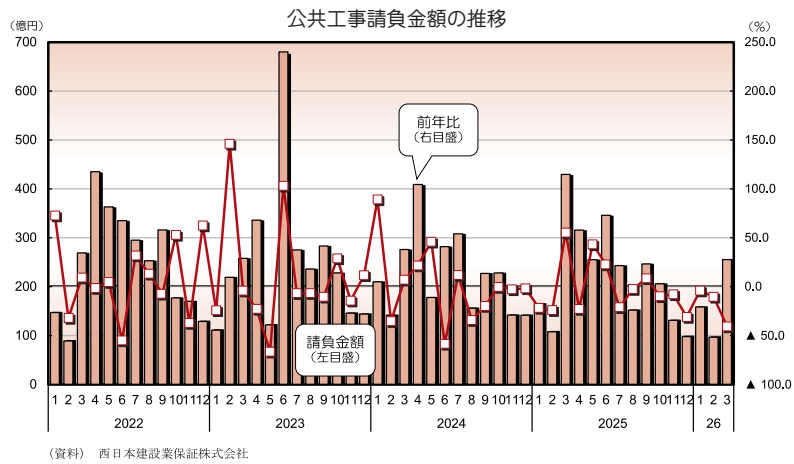
新設住宅着工戸数の推移



(資料) 国土交通省

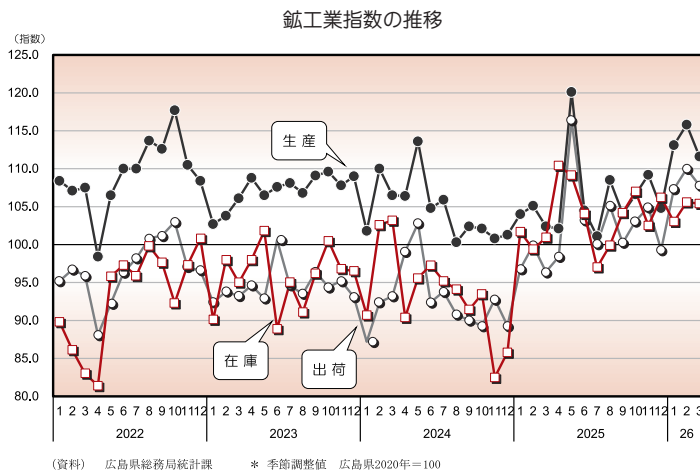
4 建設 (公共工事)

公共工事請負金額は6ヶ月連続で前年比マイナス (3月:前年比▲40.6%)



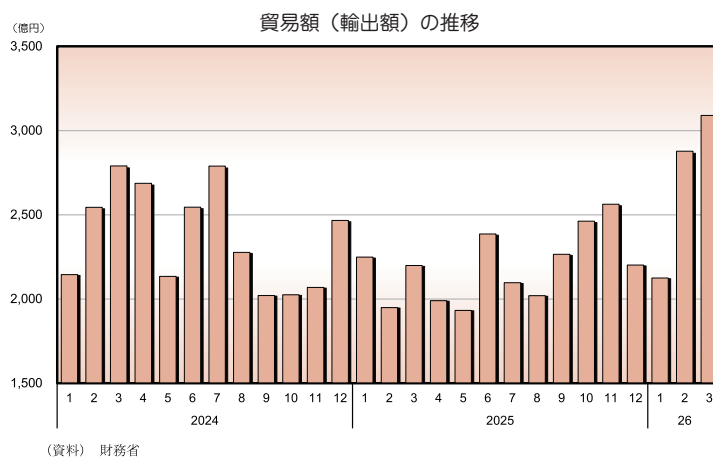
5 生産

鉱工業生産指数は2ヶ月ぶりに前月比マイナス(3月:前月比▲3.6% 季節調整値)



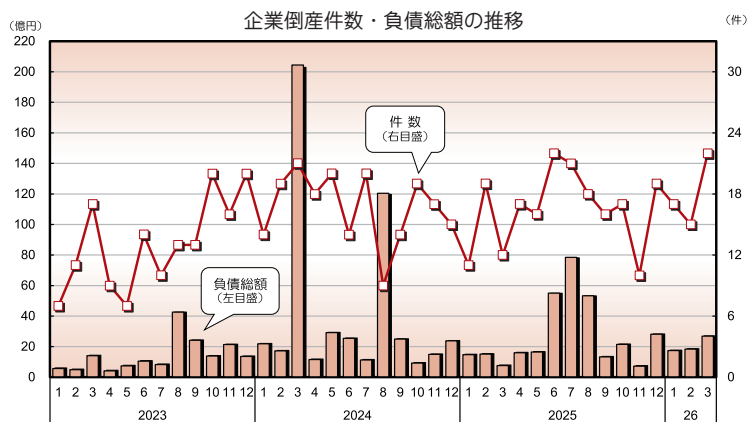
6 輸出

輸出額は2ヶ月連続で前年比プラス (3月:前年比+ 40.5%)



7 倒産

負債総額は4ヶ月連続で前年比プラス（3月：前年比+3.5倍）





福岡県内経済の動き

福岡県内景気は、一部で弱めの動きがみられるものの、全体としては緩やかに回復している

現 状



生産は3ヶ月ぶりに前月比マイナスとなり、新設住宅着工戸数は3ヶ月連続で前年比マイナス。輸出額は4ヶ月連続の前年比プラスであるほか、個人消費は百貨店・スーパー販売額が3カ月連続で前年比プラスとなるが、総じて横ばい圏内の動き。県内景気は一部で弱めの動きがみられるものの、全体としては緩やかに回復している。

先 行 き



昨今の物価上昇に伴う企業収益や消費行動への影響に加え、イラン情勢の不安定化の下でのホルムズ海峡封鎖による原油高等の経済的影響が懸念されるものの、企業収益の先行きは不透明であるため、天気マークは「曇」のままとした。

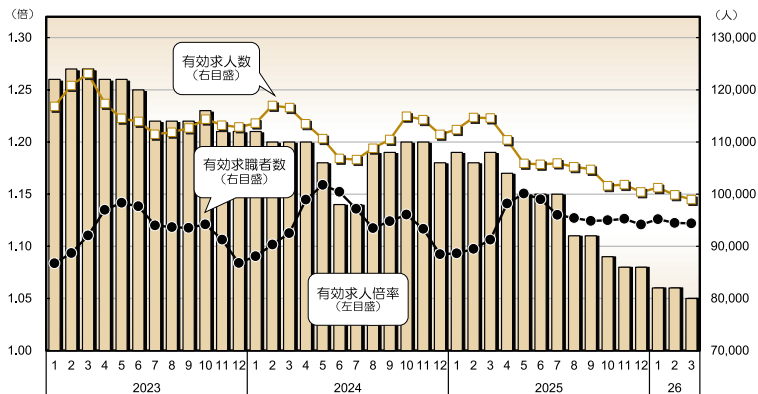
	景況判断		コメント
	景況	方向	
雇用情勢			有効求人倍率は1.05倍と前月とほぼ同水準となるも、全体としては緩やかに改善している(3月)。
個人消費			百貨店・スーパー販売額は3ヶ月連続で前年比プラスとなるが、全体として横ばい圏内の動きとなっている(3月)。
住宅建築			新設住宅着工戸数は3ヶ月連続で前年比マイナスとなったものの、総じて横ばい圏内で推移している(3月)。
公共工事			公共工事請負金額は4ヶ月ぶりに前年比プラスとなるが、全体として横ばい圏内の動きとなっている(3月)。
生産活動			鉱工業生産指数は3ヶ月ぶりに前月比マイナスとなるが、全体として横ばい圏内の動きとなっている(2月)。
輸 出			輸出額は4ヶ月連続で前年比プラスとなるが、総じて横ばい圏内で推移している(3月)。
倒 産			負債総額は5ヶ月連続で前年比マイナスとなるが、全体として横ばい圏内で推移している(3月)。

* 「景況判断」および「方向」は、山口県同様、5段階の天気マーク(晴、晴一部曇、曇、曇一部雨、雨)と前月からの基調としての変化方向(好転・不変・悪化)で表示

1 雇用

有効求人倍率は1.05倍と前月とほぼ同水準(3月:前月比▲0.01P季節調整値)

有効求人倍率(有効求人数・有効求職者数)の推移

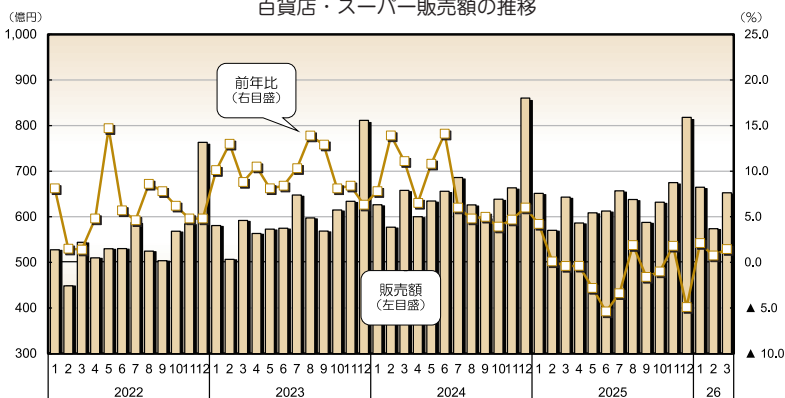


(資料) 厚生労働省 福岡労働局 * 有効求人倍率は季節調整値、有効求人数及び有効求職者数は原数値

2 消費

百貨店・スーパー販売額は3ヶ月連続で前年比プラス(3月:前年比+1.5%)

百貨店・スーパー販売額の推移

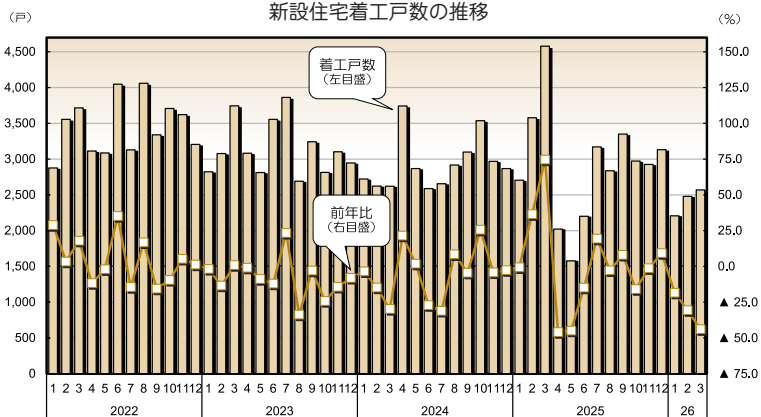


(資料) 経済産業省 * 全店舗

3 建設 (住宅)

新設住宅着工戸数は3ヶ月連続で前年比マイナス(3月:前年比▲43.9%)
(持家:同▲19.2% 貸家:同▲42.5% 分譲:同▲59.9%)

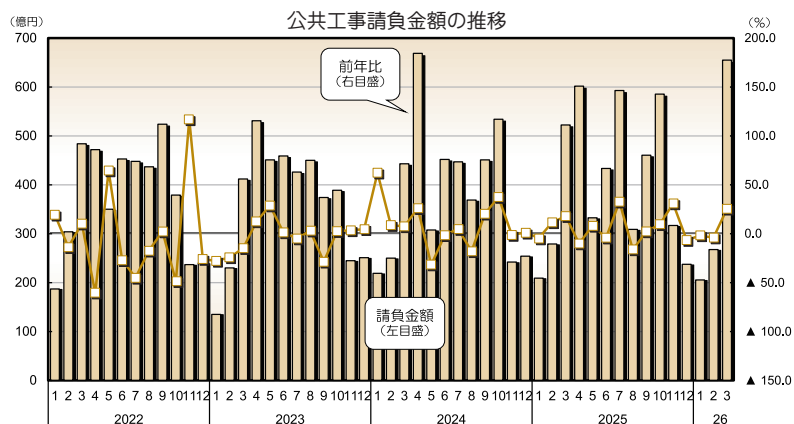
新設住宅着工戸数の推移



(資料) 国土交通省

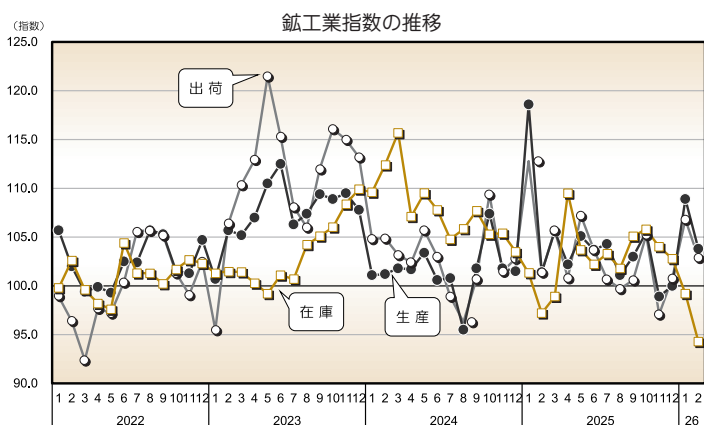
4 建設 (公共工事)

公共工事請負金額は4ヶ月ぶりに前年比プラス (3月:前年比+25.4%)



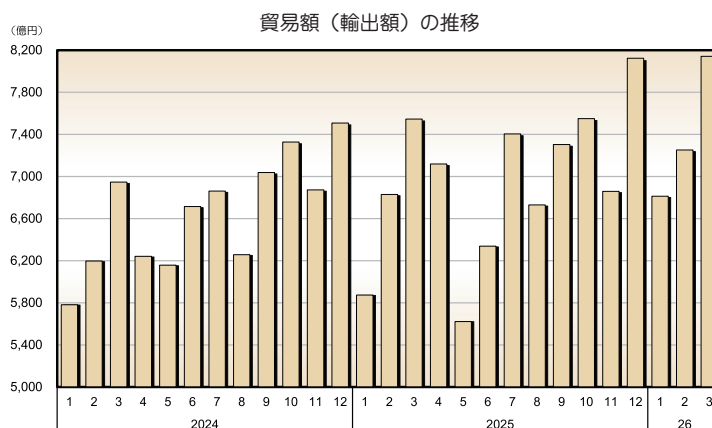
5 生産

鉱工業生産指数は3カ月ぶりに前月比マイナス(2月:前月比▲4.7% 季節調整値)



6 輸出

輸出額は4ヶ月連続で前年比プラス (3月:前年比+7.9%)



7 倒産

負債総額は5ヶ月連続で前年比マイナス（3月：前年比▲28.9%）

